

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月6日 東

上場会社名 株式会社ハウス オブ ローゼ 上場取引所
コード番号 7506 URL <https://www.houseofrose.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 池田 達彦
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 佐藤 哲（TEL）03-5114-5800
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第2四半期 | 5,853 | △0.3 | 25 | 154.2 | 29 | △17.1 | △27 | — |
| 2023年3月期第2四半期 | 5,870 | 10.3 | 10 | — | 35 | — | △9 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第2四半期 | △5.91 | — |
| 2023年3月期第2四半期 | △2.11 | — |

（2）財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年3月期第2四半期 | 8,704 | 5,643 | 64.8 |
| 2023年3月期 | 8,832 | 5,741 | 65.0 |

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 5,643百万円 2023年3月期 5,741百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 12.50 | — | 12.50 | 25.00 |
| 2024年3月期 | — | 12.50 | — | — | — |
| 2024年3月期(予想) | — | — | — | 12.50 | 25.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 12,550 | 5.4 | 300 | 95.2 | 290 | 53.7 | 247 | △51.6 | 52.70 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|------------|------------|----------|------------|
| 2024年3月期2Q | 4,703,063株 | 2023年3月期 | 4,703,063株 |
|------------|------------|----------|------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|------------|------|----------|------|
| 2024年3月期2Q | 633株 | 2023年3月期 | 633株 |
|------------|------|----------|------|

③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 2024年3月期2Q | 4,702,430株 | 2023年3月期2Q | 4,702,430株 |
|------------|------------|------------|------------|

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (四半期損益計算書関係) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間の国内景気は、コロナ禍における入国制限が解除され、インバウンド需要も高まり、観光業や外食産業等が持ち直す一方で、人手不足感が強くなりました。また円安が進む中で輸出産業等は業績を伸長させた反面、消費者物価の上昇が続き、景気浮揚感が乏しく、消費者の選別消費がより強くなりました。

(直営店商品販売事業)

ハウス オブ ローゼ直営店は、コロナ禍で制限していたハンドウォッシュ（お客様の手を顔に見立て、洗顔料等を使用しお客様の手に触れながら洗顔方法をお伝えする、当社の強みである販売手法）を再開し、お客様一人ひとりに対する「ふれる（触れる）接客」を通じた販売力を再強化することでスキンケア化粧品の売上増加を図りつつ、業績向上に取り組んでいます。しかしながら第1四半期は、主力商品であるボディスムーザーについて、機能性に着目した新機軸の期間限定品を発売しましたが、デザイン面を含めお客様への訴求力が弱く低調な販売推移となった他、春から夏にかけて販売数量が伸びる雑貨商品の一部において、原材料調達面から仕入ができなかったこと等により、新客数は減少し、売上高が計画を大きく下回る結果となりました。第2四半期に入りそれらマイナス面が徐々に収束し、ハンドウォッシュを通じたスキンケア売上高が伸長すると共に、猛暑の下、クール系のパウダーや清涼感のあるボディケア商品が好調に推移しました。さらに、9月に当社の主力スキンケアである「モイスチュアコントローラー」（保湿美容液）を大幅にリニューアルし、販売促進施策も重点強化した結果、多くのご支持をいただき売上増に大きく寄与しました。ハウス オブ ローゼ直営店舗売上高は、第2四半期会計期間は前年同期比約2%増と持ち直しましたが、第1四半期苦戦の影響により第2四半期累計では、前年同期比2%減となりました。

EC事業は、コロナ禍の収束に伴うリアル回帰により、EC業界自体の伸長率低下が指摘される中、自社ECサイトは新客売上が減少しましたが、会員数は着実に増えており、CRM活動強化等によりリピート売上が増加したことから、売上高は前年同期比で微増となりました。一方、Amazonを始めとした外部モールでは、各モール主催のイベントを活用しつつ、認知度向上及びモールの特性に応じた育成に努めた結果、ボディスムーザーを中心に、売上高が前年同期比約7%増となり、EC事業全体の売上高は前年同期比4%増となりました。

他の直営店商品販売事業を加えた当事業売上高は、44億80百万円（前年同期比1.0%減）となりました。一方経費面では、スキンケア売上比率の上昇等により売上原価率は低下しましたが、前年同期に自粛していた営業活動の強化や販売促進費用の増加等で、営業損失74百万円（前年同期も74百万円の営業損失）と、ほぼ前年同期並みとなりました。

(卸販売事業)

個人オーナー店舗向け卸及び量販店向け卸は、総じてHOR直営店とほぼ同様の売上状況となりました。その中において、個人オーナー上位店舗への販売促進施策の強化、また当社からスタッフを派遣している量販店に対して、販売不振店舗には派遣中止を実施する等の諸施策を推進し、事業収益改善に取り組みました。その他国内一般卸は、秋冬物の一部季節商品の納品が猛暑により下期にずれ込んだものの、Oh!Babyシリーズや夏季限定商品等が好調に推移し、さらに取引額が大幅に増加した取引先もあり売上増となりました。一方、中国越境EC卸は、中国市場の回復の遅れや競合商品による競争激化等により、売上高は前年同期で減少となりました。

以上、当事業売上高は7億58百万円（前年同期比2.3%増）、売上高の増加に伴い、営業利益21百万円（前年同期比9.5%増）と増加しました。

(直営店サービス事業)

リラクゼーションサロン事業は、猛暑の影響もあり客数は伸び悩みましたが、当社のクール系商品を利用したコースの需要が伸長し、また施術単価の高いロングコースも好調に推移するなど販促施策が奏功しました。前期に続き今中間期も2店舗を退店したため、売上高は前年同期比で5%強の減少となりましたが、既存店ベースでは微増となりました。

カーブス事業は、引き続き既存会員に対するサポート強化と共に退会者の抑制に努めており、フランチャイザーであるカーブスジャパンのTVCM効果も寄与し、会員数は猛暑の影響で伸び悩んだものの、期初比で約320名の純増となりました。スタッフ数不足が続いている中で売上高は前年同期比8%の増加となりました。

以上、当事業売上高は6億14百万円（前年同期比2.1%増）、カーブス事業が牽引する形で営業利益は78百万円（前年同期比21.9%増）となりました。

当第2四半期累計期間の業績は、第1四半期苦戦の影響により当初計画を下回り、全社売上高は、58億53百万円（前年同期比0.3%減）となりました。経費面では、今期からリラクゼーションサロン事業の一部人件費を売上原価に移行したため、売上原価率は上昇しましたが、物件費の減少及び、人件費につきましては、店舗数減に伴う従業員数の減少も要因となり減少する等、販管費が前年同期比で1.4%減少し、営業利益は25百万円（前年同期比154.2%増）となりました。一方、前年同期に発生した株式売却益等の非経常的要因がなくなったため、四半期純損失は27百万円（前年同期は純損失9百万円）と損失額が拡大しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より1億27百万円減少し、87億4百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より1億59百万円減少し、55億74百万円となりました。これは主に商品及び製品が86百万円、前払費用が69百万円増加し、現金及び預金が3億39百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末より31百万円増加し、31億30百万円となりました。これは主に長期前払費用が66百万円増加し、投資有価証券が18百万円、差入保証金が12百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末より30百万円減少し、30億60百万円となりました。これは主に電子記録債務が2億6百万円増加し、短期借入金が1億50百万円、1年内返済長期借入金が1億円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末より97百万円減少し、56億43百万円となりました。これは主に利益剰余金が86百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回発表(2023年5月15日決算短信)に記載の業績予想に変更はありません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

| | 前事業年度 (2023年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (2023年9月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| (単位：千円) | | |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,300,688 | 2,961,052 |
| 売掛金 | 862,605 | 889,248 |
| 商品及び製品 | 1,559,015 | 1,645,195 |
| その他 | 12,549 | 79,601 |
| 貸倒引当金 | △1,049 | △1,049 |
| 流動資産合計 | 5,733,808 | 5,574,048 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 313,288 | 310,304 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 16,999 | 22,162 |
| 土地 | 1,066,868 | 1,066,868 |
| リース資産（純額） | 90,618 | 91,248 |
| 有形固定資産合計 | 1,487,774 | 1,490,583 |
| 無形固定資産 | 29,122 | 17,382 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 555,494 | 543,155 |
| その他 | 1,026,619 | 1,079,785 |
| 投資その他の資産合計 | 1,582,113 | 1,622,941 |
| 固定資産合計 | 3,099,010 | 3,130,906 |
| 資産合計 | 8,832,819 | 8,704,955 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 203,873 | 231,553 |
| 電子記録債務 | 452,118 | 658,305 |
| 短期借入金 | 150,000 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 100,000 | — |
| 未払法人税等 | 1,717 | 73,538 |
| 賞与引当金 | 175,536 | 177,980 |
| その他 | 650,469 | 556,713 |
| 流動負債合計 | 1,733,713 | 1,698,091 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 1,175,272 | 1,182,561 |
| 役員退職慰労引当金 | 101,614 | 107,494 |
| 資産除去債務 | 17,208 | 25,779 |
| その他 | 63,224 | 47,060 |
| 固定負債合計 | 1,357,319 | 1,362,895 |
| 負債合計 | 3,091,033 | 3,060,986 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 934,682 | 934,682 |
| 資本剰余金 | 1,282,222 | 1,282,222 |
| 利益剰余金 | 3,453,350 | 3,366,772 |
| 自己株式 | △724 | △724 |
| 株主資本合計 | 5,669,530 | 5,582,951 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 115,989 | 104,750 |
| 土地再評価差額金 | △43,733 | △43,733 |
| 評価・換算差額等合計 | 72,255 | 61,016 |
| 純資産合計 | 5,741,785 | 5,643,968 |
| 負債純資産合計 | 8,832,819 | 8,704,955 |

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 5,870,957 | 5,853,767 |
| 売上原価 | 1,679,340 | 1,704,542 |
| 売上総利益 | 4,191,617 | 4,149,224 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,181,565 | 4,123,675 |
| 営業利益 | 10,051 | 25,549 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 4 |
| 受取配当金 | 2,439 | 2,658 |
| 受取助成金 | ※ 3,798 | ※ 1,200 |
| 受取補償金 | 20,883 | — |
| その他 | 1,984 | 2,162 |
| 営業外収益合計 | 29,110 | 6,026 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,593 | 2,048 |
| その他 | 215 | 212 |
| 営業外費用合計 | 3,808 | 2,261 |
| 経常利益 | 35,353 | 29,314 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 10,000 | — |
| 特別利益合計 | 10,000 | — |
| 税引前四半期純利益 | 45,353 | 29,314 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 60,674 | 49,507 |
| 法人税等調整額 | △5,413 | 7,604 |
| 法人税等合計 | 55,261 | 57,112 |
| 四半期純損失(△) | △9,907 | △27,797 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

※ 受取助成金

前第2四半期累計期間の受取助成金は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休業・営業時間短縮要請等を行う大規模施設に対する協力金を計上しております。

当第2四半期累計期間の受取助成金は、新型コロナウイルス感染症に係る小学校等の臨時休業等に伴う保護者の休暇取得に対する支援金を計上しております。